

# 人口減少時代の サービスを再構築せよ

道路ネットワークを活用した新しいまちのアイデア



---

## 日本では人口減少が進み

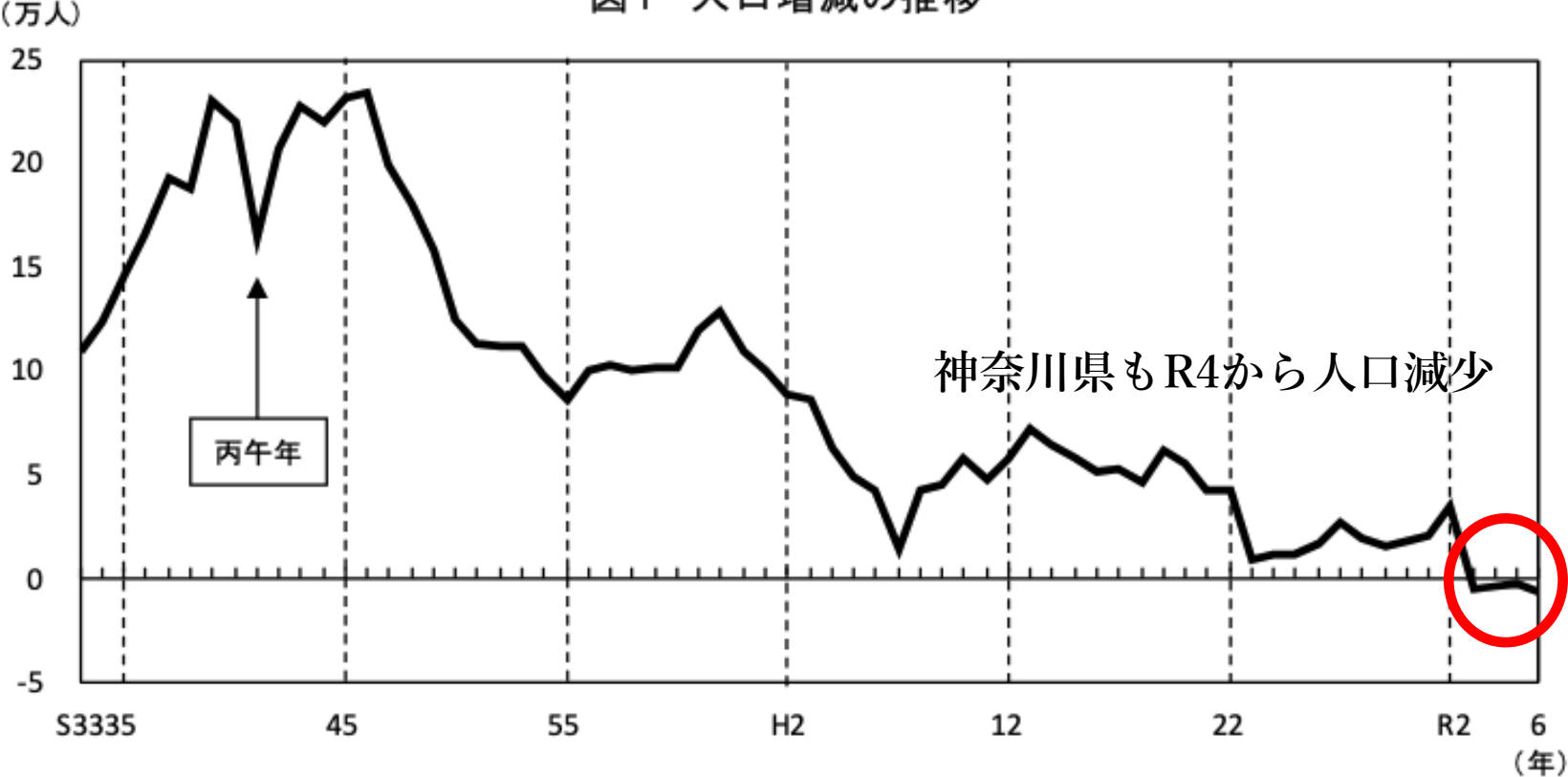
- 公共交通の縮小
- 学校や店の統廃合
- 高齢者の移動困難
- 地域コミュニティの弱体化

など、生活サービスの維持が難しくなっています。

---

# 神奈川県人口増減の推移

図1 人口増減の推移



| 年度<br>(4月1日現在) | 人口        |
|----------------|-----------|
| 2025 (R7)      | 9,218,981 |
| 2024 (R6)      | 9,225,091 |
| 2023 (R5)      | 9,227,901 |
| 2022 (R4)      | 9,231,177 |
| 2021 (R3)      | 9,236,337 |
| 2020 (R2)      | 9,201,825 |
| 2019 (R1/H30)  | 9,181,625 |
| 2018 (H29)     | 9,163,279 |
| 2017 (H28)     | 9,147,400 |
| 2016 (H27)     | 9,128,037 |

• 神奈川県 人口統計調査結果報告 (令和 6 年 1 月～12 月の人口動向)  
[https://www.pref.kanagawa.jp/documents/12037/r6\\_nenpou.pdf](https://www.pref.kanagawa.jp/documents/12037/r6_nenpou.pdf) (2026年1月19日閲覧)





---

一方、サービス需要者・供給者どちらにとっても「移動」は不可欠です。

人間である以上、サービスを受けるにも提供するにも「移動」が前提になり、移動の中心は道路であると、ここでは考えます。

(仮想空間での活動や、道路以外の移動は、置いておきます)

つまり、人口減少下でも必ず使われる基盤が道路ネットワークです。

---



---

だからこそ今回のアイデアソンでは

## 「道路ネットワークを使って 既存サービスを再構築する」

そんなアイデアを募集します。

道路そのものをいじるのではなく、道路を利用したり、  
道路の上を流れるサービスを

“新しい形に組み替える” 発想

が、ポイントです。

最終的に目指すのは、道路ネットワークという“変え  
られない基盤”を最大限に活かし、人々の暮らしを支  
える

“サービス側の再構築”

につながるアイデアを出すことです。

---

---

# Keywords

- 移動手段の再構築

オンデマンド交通 / 乗合タクシー・地域モビリティ / 統廃合後のスクールバス最適化

- 移動型サービス化

移動スーパー（買い物弱者支援） / 移動診療・訪問医療・巡回看護 / 移動行政窓口・移動図書館

- 施設再配置・機能集約

医療・教育施設の集約とサテライト化 / 公共施設の用途転換（閉校→複合拠点）

- 物流・配送の再編 / 安全・防災・救急の“到達性”強化 / コミュニティ・交流支援サービス  
サービス統合・複合化

路沿いの小拠点（交流所・ベンチ・ミニカフェ） / 移動スーパー×移動ATM×健康チェックの複合車 / 空き家エリアの巡回管理（空洞化対策） / マイクロハブ（小集配拠点）の配置

---

ポイントは **道路** です